

平成 20 年度 第 6 回理事会議事抄録

日 時：平成 21 年 1 月 24 日(土) 13:00～17:00

場 所：道士会事務局

出 席：藤田龍一(会長)、 村田和香(副会長)

池田望 柿崎貴浩 菊地啓介 佐藤裕一 藤坂広幸 水上伸子 山田毅 吉岡英章(理事)
坂上哲可(事務局長) 松田卓子 片上麻美(書記)

欠 席：清水兼悦(副会長) 伊藤隆 仙石泰仁(理事)

【検討事項】

1. 総会日程：平成 21 年 5 月 9 日(土) クラーク会館

- ・支部連絡協議会会議
- ・第 1 回講習会
- ・総会、選挙
- ・新人歓迎会
- ・拡大理事会

→ 承認

2. 選挙公示

1) 選挙日時：平成 21 年 5 月 9 日(土)

2) 場所：クラーク会館

3) 選挙公示：2 月ニュースに同封(選挙日 60 日以前)

4) 立候補及び推薦届け出〆切日：3 月 27 日(選挙日 40 日前)

→ 承認

3. SIG における現職者共通研修「事例報告」取得について(資料 1 より抜粋)

日本 OT 協会より、SIG における運用の条件が示された。その条件を取り入れ、道士会教育部における扱いの流れをまとめた。以下の流れにそって、平成 21 年度より運用したい。

①事例検討開催 SIG の登録

認定 OT の所属する SIG は、主催研修会において現職者共通研修「事例報告」への充当を希望する場合、その旨を道士会教育部に申請する。

②認定結果

申請された SIG に対して道士会教育部が審査し、認定されれば HP 上の【現職者共通研修「事例報告」認定 SIG 一覧表(仮)】に随時追加していく。

③事例報告の実施

発表者は日本 OT 協会学術部フォーマットを用い、認定 OT の指導のもと、SIG 主催の研修会において事例報告を行なう。

④「事例報告」取得の申請

発表者は SIG での事例報告後、事例報告フォーマットを元に作成した発表資料、生涯教育手帳、返信用封筒を道士会教育部長へ郵送する。郵送する発表資料には、指導した認定 OT のサインがなければならない。

⑤「事例報告」取得の完了

審査の結果、認定されれば生涯教育手帳の現職者共通研修「10. 事例報告」欄に押印し、会員(発表者)へ返信される。

認定 OT が所属している SIG は改めて道士会教育部に申請してもらい、認定 OT がいない SIG は、教育部に相談してもらおう。基本的には SIG における事例報告が出来る限り増やせるようにバックアップしていく。

→ 承認

4. 次年度事業計画・予算案について(資料 2, 3 より抜粋)

まだ決算報告できない部局が多いので、事業報告と次年度の事業計画を中心に。決算報告、予算案は次回理事会にて検討する。

調査部：道士会 HP の改訂～目的としては、一般市民に対する情報発信、会員に対する情報共有・発信の 2 つ。

広報部企画課と合同で、部員による独自開発を進めていく。今年度はいろいろなパターンの検討、来年度は調査研究を主体に、再来年度の運用を目標に進めていく。まずは、会員向けから着手する予定。

教育部：研修会を今年度より 10 回ほど多く企画予定。当日の人員調整を、教育部から事業部推進課に移譲す

る案が企画調整委員会より出されており、部員と予算の兼ね合いは今後検討していく。一事業に対しての予算は同じ部局で考えることを基本に次回理事会までに検討。

広報部企画課：今年度作成した一般向けリーフレットだけでなく、他の2つのリーフレットの作成を引き続き行なう。また、調査部と連携してウェブ開発を継続して行なう。

事業部：来年度は推進課と企画課に分かれる予定。推進課は主に札幌支部のバックアップをメインに、教育部主催の研修会・講習会の実行支援は更なる検討が必要、今年度中に調整する。企画課は例年通りに公益事業その他を企画していく。新しく企画する事業もあるので、会議を多く行なう予定。

学会評議委員会：道学会を学術的なものにするか、職能団体として行なうものにするか、方向性を考える。また、将来的に学会単独の運営ができるかどうかも含め、学会時のアンケート調査から学会のあり方の検討を始める。企画調整委員会と連動して行なっていく。

→ **継続**

5. その他

・未納者への対応について

今年度のみで550名くらい、複数年度未納者も含めると、延べ800名分が未納となっており、回収率が年々下がってきている状態。振込用紙の紛失など、会員個人毎の事情もあるようだが、職場への連絡や未納者への連絡方法など、意識してもらえよう工夫し、今後も継続して納入の促しをする。

→ **継続**

【各部局報告】

<三役会> 1/22(木) 18:30~

・第6回理事会議案について

<総務部>

- ・日本職業リハビリテーション学会北海道ブロック「2008年度障害者雇用・就労促進セミナー(11/13)」案内依頼(12/15); HP掲載
- ・(社)日本作業療法士協会「認定作業療法士しおり配布について」(12/15); 総会等で配布を検討中
- ・北海道医療ソーシャルワーカー協会「第52回北海道医療ソーシャルワーク学会(4/18.19)」名義後援依頼(12/26); 承諾

【出版物・報告関係】

- ・(社)群馬県作業療法士会「群馬県作業療法学会誌」(12/11)
- ・(株)北海道医療新聞社「週刊北海道医療新聞新春特集号・介護新聞新春号」年賀広告掲載号(1/9)
- ・(社)北海道理学療法士会「第59回北海道理学療法士学術大会 プログラム・抄録集」(10/20)
- ・社団法人北海道放射線技師会「会報 2009.1月号」(1/9)
- ・(社)大阪府作業療法士会「パンフレット」(1/9)
- ・いきいき福祉 2009 事務局「いきいき福祉 2008」実施報告書(1/16)

<渉外部>

- ・(社)日本作業療法士協会「名誉会員の推薦について」(12/1); 該当無し
- ・札幌市保健福祉局保健福祉部介護保険課「札幌市介護認定審査会委員」推薦依頼(12/9); 調整中(1/31 締切)
- ・(財)北海道難病連「難病センター新年会(1/5)」案内(12/11); 欠席
- ・(社)日本作業療法士協会「平成20年度現況調査」に対する調査依頼(12/18); 作成中(1/31 締切)
- ・(社)日本作業療法士協会「協会広報部担当士会広報部員の募集について」(11/21); 湯川広報企画課員登録(12/22)
- ・北海道保険福祉部「平成21年度秋の叙勲・褒章候補者」の推薦依頼(12/26); 1/15 締切(該当無し)
- ・(社)札幌市医師会新年交礼会(1/5); 会長出席
- ・(財)北海道難病連「難病センター新年会(1/5); 清水副会長出席
- ・(社)北海道医師会新年交礼会(1/6); 清水副会長出席
- ・札幌市保健福祉局保健福祉部障がい福祉課「札幌市障がい区分認定等審査会委員」推薦依頼(1/9); 調整中(1/31 締切)
- ・(社)北海道柔道整復師会新年交礼会(1/10); 坂上事務局長出席
- ・北海道保健福祉部福祉局福祉援護課「平成20年度バリアフリーリフォーム講座(札幌・函館・旭川・釧路)」実施に係わる協力依頼(1/9); 札幌・函館・釧路、報告

- ・(社)北海道医師会「第25回北海道医療・福祉関係職能団体等懇談会」(1/16)；藤田会長、清水副会長出席
- ・(社)北海道理学療法士会新年交礼会(1/17)；清水副会長出席
- ・(社)北海道放射線技師会新年交礼会(1/17)；会長出席
- ・いきいき福祉2009事務局「いきいき福祉2009(仮称)(2009.9.5～9.7)」出展案内(1/16)；出展申込締切4/30
- ・札幌市の障害者交通費助成の削減に反対する連絡会「連絡協議会への賛同・参画」依頼(1/22)；承諾
- ・北海道脳卒中広域医療連携研究会委員の派遣依頼(1/10)；調整中
代表：高橋先生(砂川市立病院脳神経外科)、顧問：生駒教授(北海道大学病院)、
世話人：高村先生(時計台記念病院)

【事業】

- ・新年交礼会準備：案内発送(12/4)、名簿・しおり作成、祝辞依頼(北海道、道医師会、道リハ医学会、道理学療法士会)

<財務部>

- ・年会費納入のお知らせ：ニュース12月号に同封
- ・補正予算：各部局、支部予算内調整で当初予算通り可能だが、平成20年度会費回収率70.6%(12月末現在、正会員の回収率)に留まっている。

<調査部>

- ・会員数；1,865名 入会者9名
※11月28日から1月20日分
- ・次年度活動計画、予算案の立案
 1. 会議：年7回
 2. 関連部局(学術部/保険部)との調査研究ワーキンググループの継続
 3. 関連部局(広報部企画課)との北海道作業療法士会ウェブ改訂(資料4)
 4. 日本作業療法士協会県士会システムを用いた会員基本属性の調査/公開
 5. 部局の組織強化

<学術部>

- ・北海道作業療法第25巻1号の発刊及び2号の編集
- ・OTの需要に係るアンケート発送準備
発送は施設宛でニュースに同封、回収は無記名にて施設ごとに集約し事務局宛
- ・次年度活動計画、予算案の立案
 1. 平成21年度「北海道作業療法」編集、発行
北海道作業療法26巻第1～4号発行、年4回の発行
 2. 学術奨励賞の選考及び表彰(札幌学会)
 3. 道内OT実態調査研究
 4. 研究に関わる倫理委員会の設立

<教育部>

- ・第6,7講習会、現職者選択・共通研修会の開催
- ・次年度活動計画、予算案の立案
各支部との連携を中心に各地区において多くの道士会主催研修会開催予定。また、特に札幌支部においては、「事業部推進課(仮名)」による実動部隊としての動きが予定されており、1研修あたり5名程度の人員を確保する予定。
 1. 現職者研修会：20回(支部も含む)
 2. 道士会主催研修会：24回(支部も含む)
 3. 現職者選択研修会：4回(札幌)

<広報部>

[広報課]

- ・ニュース2月号校正等、ニュース4月号企画等
- ・次年度活動計画、予算案の立案
 1. 会議：年12回
 2. ニュース発行 年6回
 3. サテライト通信員体制
 4. 広報課員の増員

5. 寄稿 年6回

6. 取材の充実

[企画課]

・次年度活動計画、予算案の立案

企画課が担っていた事業企画部分は事業部に移譲し、広報、特に外部に向けた広報活動に繋がる技術、体制の構築を担う。

1. 会議：年12回

2. 支部活動の現地調査

3. 広報媒体の開発

4. 関連部局(調査部)との北海道作業療法士会ウェブ改訂

<福利部>

・平成21年新年交礼会準備

・次年度活動計画、予算案の立案

1. 新卒者の就職状況把握

2. 新卒者への士会入会勧誘の実施

3. 新会員歓迎会

4. 団体保険管理・運営、各種必要保険の調査

5. 研修会等での託児運営支援

6. 福利相談

7. 座談会モデル事業実施

8. 人材バンク設置準備(調査)

<事業部>

・次年度活動計画、予算案の立案

1. 会議：年15回

2. 支部事業の連携について検討

3. OT啓発イベントの開催

4. いきいき福祉機器展への出展

5. 道庁パネル展への出展

6. 研修会・講習会実行支援

7. 事業部・学術部講習会の開催

8. 市民公開講座の開催

<保険部>

・次年度活動計画、予算案の立案

1. 医療・介護保険に関する情報収集

2. 士会員への情報提供

3. 士会員への保健相談、その他

4. 保険関連についての他団体の集会・会議への参加

5. 座談会の開催

6. 保険関連の講習会の開催

<総会議事運営委員会>

・次年度活動計画、予算案の立案

1. 総会の準備と実施

2. 委任状の分析と検討

<学会評議委員会>

・次年度活動計画、予算案の立案

1. 平成21年度第40回札幌学会の支援

2. 平成22年度第41回学会の支援

3. 「学会運営手引き(マニュアル)」の継続的な見直し

4. 平成21年度第40回札幌学会の参加者の動向調査

<選挙管理委員会>

- ・選挙準備

<企画調整委員会>

- ・次年度活動計画、予算案の立案

全企画調整委員が集まる会議を1回/月の他、一部委員で行う会議を含め2回/月行う予定である。

<規約検討委員会>

- ・法人制度改革に向けての定款、規約等の見直し

<白書委員会>

- ・白書作成、第一弾のアンケート項目別集計中

<40周年記念委員会>

- ・祝賀会；内容検討中
- ・記念誌；コンテンツ検討、各部局への文章依頼予定

<支部連絡協議会>

- ・特になし

次回理事会 日時： 2月28日（土） 場所：道士会事務局
